



平成 29 年 1 月 23 日

## 「オリンピック冬季競技大会ピョンチャン 2018 公式記念コイン」予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取：藤川 雅海、本店：茨城県土浦市）は、「オリンピック冬季競技大会ピョンチャン 2018 公式記念コイン」の予約販売を、本日より開始いたしましたのでお知らせいたします。

このコインは、韓国で初めての冬季オリンピック開催となるピョンチャン 2018 を記念して、韓国造幣公社が鋳造し、韓国銀行が発行するもので、スキージャンプ金貨、銀貨 4 種セットの予約販売を下記のとおり受付いたします。

### 記

#### 1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	スキージャンプ金貨	280,800 円	国内限定 1,200 枚
B	銀貨 4 種セット	49,680 円	国内限定 1,200 セット

※いずれも税込価格です。

※各商品はすべて造幣局特製ケースと発行証明書を添付いたします。

※銀貨はセット販売のみとなります(単品販売はいたしません)。

2. 予約販売受付期限 平成 29 年 2 月 3 日（金）
3. お引渡し予定日 平成 29 年 3 月 14 日（火）以降
4. 販売窓口 当行全営業店

以上

報道機関のお問合せ先			
筑波銀行	総合企画部広報室	鈴木	内線3731
TEL 029-859-8111			



## 商品の一覧

### A スキージャンプ金貨

280,800円(税込)

限定1,200枚

額面:20,000 ウォン 品位:99.9% 重量:15.55g 直径:28.0mm 状態:プルーフ



### B 銀貨4種セット<①スピードスケート銀貨 ②ボブスレー銀貨 ③アイスホッケー銀貨 ④カーリング銀貨>

49,680円(税込)

限定1,200セット

額面:5,000 ウォン 品位:99.9% 重量:15.55g 直径:33.0mm 状態:プルーフ





## デザインと解説

### 金貨と銀貨

#### 金貨・銀貨共通＜表面＞

金貨、銀貨ともにコインの中央に堂々と公式エンブレムを刻みつけたシンプルかつシャープなデザイン。その周囲を取り囲む形で＜オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018＞のハングル表記、発行年等が刻印されています。



金貨  
実物サイズ



銀貨  
実物サイズ

額面: 20,000 ウォン  
重量: 15.55g 直径: 28.0mm

額面: 5,000 ウォン  
重量: 15.55g 直径: 33.0mm

#### 金貨＜裏面＞

##### スキージャンプ金貨

1800年代、ノルウェー・テレマーク地方で競技化されたスキージャンプ。今大会のメイン会場＜アルペンシア・スタジアム＞が立体的に描かれ、そこから高く飛翔する選手の動きを、オリンピック記念コイン史上初めて施された“潜像加工”でダイナミックに表現。コインを見る角度によって2つのジャンプ中の姿を見ることができる。



#### 銀貨＜裏面＞

##### ①スピードスケート銀貨

オランダ発祥とされ、冬の間、凍結した運河や川をわたる移動手段として発達したスケート。時速約60kmの速度で激しいコーナーを果敢に攻めながら、氷上を駆け抜ける選手の気迫ある表情、逞しい筋肉の動きまでが繊細な加工で描かれている。



##### ②ボブスレー銀貨

スイス・アルプス地方でリゾート客用のソリ遊びとして生まれたものが発祥とされるボブスレー。最高時速130kmに達し、そのスピード感やスリル、迫力から＜氷上のF1＞とも呼ばれる。そのまさにスタート直後の選手達の勢い、氷のようなプルーフ面を滑るソリに乗り込む1コマが描かれている。



##### ③アイスホッケー銀貨

1879年、カナダの学生がホッケーとラグビーを参考にルールを考案したとされ、北米を代表するウィンタースポーツに発展したアイスホッケー。＜氷上の格闘技＞とも呼ばれる激しい競技のバックがゴールに決まった瞬間の躍動、防具のシワまで精緻な刻印で描かれている。



##### ④カーリング銀貨

15世紀のスコットランドを発祥とするカーリング。競技名は、丸いストーンを投げると、髪がカールするようにゆっくり回転することに由来する。選手の手を離れたストーンが鏡のように磨かれた氷上を滑り、奥の選手がそれを導く様子が描かれている。





(参考)

## オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018について

### ■大会概要

- ▶大会名:オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018
- ▶開催地:韓国・ピョンチャン 他
- ▶開催日:2018年2月9日(金)～2月25日(日)(17日間)
- ▶実施競技・種目:15競技

### ■開催地:ピョンチャン(平昌)

#### ●韓国のアルプス・ピョンチャン

ソウルから約200km。韓国北東部、険しい山々が連なる江原道(カンウォンド)地域。その中南部に位置するのが、来るべき熱戦の舞台<ピョンチャン>。標高700mを超える高原に手つかずの大自然が美しく広がり<韓国のアルプス>と称されることも。夏は山や渓谷を楽しむ避暑地として、冬はウィンタースポーツのメッカとして多くの観光客で賑わいます。周囲には数々のレジャー施設が点在し、大会後は国際的な観光名所をめざしています。



## オリンピック記念コインの誕生について

第2次世界大戦後に開催された1952年「第15回ヘルシンキオリンピック」。フィンランドは戦後の復興を成し遂げた記念という意味を込めて開催されたオリンピック競技大会で、世界初となるオリンピック記念コイン「ヘルシンキ大会記念500マルカ銀貨」を発行しました。

1964年「第18回オリンピック東京大会」では、日本で最初の記念コインとなった100円と1,000円の銀貨が発行されました。

発行枚数1,500万枚の1,000円銀貨(100円銀貨発行枚数は8,000万枚)はすぐに品切れとなり、発行による収益は大会運営費に充てられました。この成功がきっかけとなり、その後の1968年メキシコオリンピックでも記念銀貨が大量に発行されました。



ヘルシンキ大会記念  
500 マルカ銀貨

以降は、オリンピックの開催ごとに記念コインが発行され、その収益が大会運営費に充てられることが定着しました。

また、東京2020オリンピック競技大会に向けて、2016年9月20日に造幣局から1,000円銀貨のハンドオーバーコイン(リオ2016-東京2020オリンピック競技大会開催引継記念)が販売されました。



“日本初の記念コイン”オリンピック東京大会  
1,000円銀貨と100円銀貨